

湯地丈雄 たけち ぶゆう 護國運動家。弘化四年四月四日肥後國生れ、大正二年一月十日歿（八四七一九三）。幼名丈熊。號紫山居士。明治十九年滿岡警察長署署長拜命。また護國精神發揚のため元寇記念碑建てるを發企、檄文を叩く時の關係、新聞社に送附したのを初め、二十二年には職を辭し、爾來記念碑の事奔走。北海道に至るまで全國を講演行脚、二十二年には聴衆總計百萬人を起し、二十七年遂に碑を竣工せしめた。この後護國水雷艇獻納運動に著手すると果せなかつた。

著書に、『日本と蒙古の對戦』元寇（高橋熊太郎同著、内題「世界元寇」明治二十六年三月）二十五日鶴岡共太郎刊、學友館發賣）、『増補元寇反撃護國美談』（紫山居士名・中洲居士補、明治二十七年五月）二十八日護國堂）、『元寇反撃護國美談』（明治二十七年二月）二十八日公報館）等。仲村久著『湯地丈雄』（昭和十八年五月）二十六日牧書房）がある。

